

設計課題 「景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅(木造2階建て)」

1. 設計条件

ある地方都市の景勝地(西側に美しい山並みが見える)において、夫婦の趣味である木工芸品の製作を通じて、地元の人々との交流を深めることのできる、土間スペースのある週末住宅を計画する。

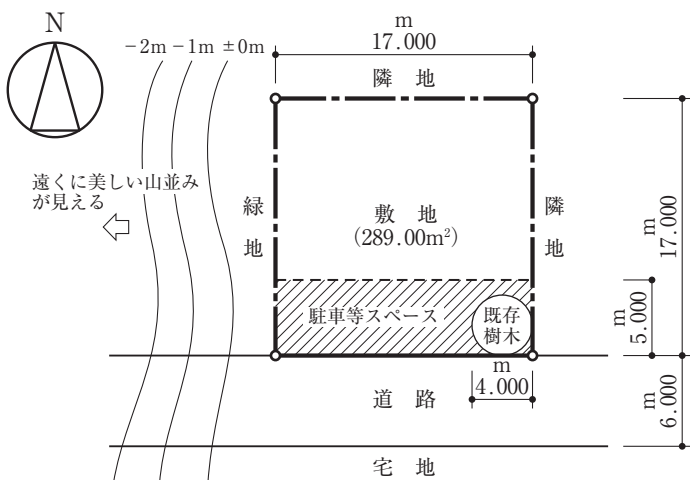
- 計画に当たっては、次の①～⑤に特に留意する。
①土間スペースは、木工芸品のギャラリーやワークショップ及び地元住民との交流を深めるためのスペースとし、西側の美しい山並みが一望できる計画とする。また、展望テラスと隣接させ、直接行き来できる計画とする。
②道路から玄関へのアプローチは、母及び地元住民(高齢者)に配慮して、玄関ポーチまで屋外スロープを計画する。
③1階の居間・食事室・台所からは、敷地内の既存樹木が眺められる計画とする。
④床高等については、下表のとおりとする。

Table with 2 columns: 階部分の各要求室(玄関の土間部分、土間スペースを除く)の床高(地盤面からの高さ) and 高さ. Rows include 1階部分, 玄関の土間部分, 土間スペース及び展望テラスの地盤面からの高さ.

⑤建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、図のとおりである。
イ. 用途地域その他の指定はない。
ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
エ. 地形は西下がり傾斜しているが、当該敷地及び接している道路及び他の隣地とは高低差はなく、地盤は良好である。
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。



(注) 1. 斜線部分は駐車、通路、植栽等のスペースとし、建築物は計画してはならない。
2. 既存樹木(枝張り4.0m)は、現在の位置に保存するものとし、この部分には建築物は計画してはならない。

敷地図(縮尺:1/500)

(2) 構造、階数及び建築物の高さ

- ア. 木造2階建とする。
イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「160㎡以上、200㎡以下」とする。(床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、展望テラス、屋外スロープ、駐車スペース等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

母(70歳代)、夫婦(40歳代)、子ども2人(小学生)

(5) 要求室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

Table with 4 columns: 設置階, 室名, 特記事項, 床面積. Lists rooms like 玄関, 土間スペース, 倉庫, 居間・食事室・台所, etc., across 1階 and 2階.

(注)母の移動に配慮して、1階の要求室の出入口は全て引戸又は引違い戸とする。

(6) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

Table with 2 columns: 施設名, 内容. Lists 展望テラス, 屋外スロープ, 駐車スペース with specific requirements.

2. 要求図書

- ア. 下表より、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
イ. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
ウ. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(部分詳細図(断面)にあつては、10mm)である。
エ. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

Table with 2 columns: 要求図書()内は縮尺, 特記事項. Lists drawing requirements for 1階平面図, 2階平面図, 2階床伏図, 立面図, 断面図, 部分詳細図, 面積表, 仕上表, and 計画の要点等.

下書欄 (目盛4.55mm)

Large grid area for drawing and writing answers, with a header row for member number, name, and location.